

令和2年度 部局経営方針

部局名		教育委員会	部局長名	小林 英明	
部局の経営資源	職員数 (人)		現計予算額 (千円)		令和2年度中に策定した計画 (根拠法令等)
	正職員	55	一般会計	2,009,978	
		(ほか兼務 7人)	特別会計	0	
	再任用職員	9	前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	74	一般会計	0	
			特別会計	0	
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>「ふるさとを愛し、心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」を基本目標とし、以下のことに取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生きる力をはぐくむ教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意欲や学力向上を図るとともに、関係機関との連携を強化し、幼児教育、特別支援教育、小中学校の教育の充実を図ります。 学校ICT環境の充実や教員のICT活用指導力の向上を図り、児童生徒の情報活用能力の育成に努めます。 魅力ある教育体制や環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の相談支援体制の充実に努め、いじめや不登校・虐待の防止を図るとともに、安全で安心な教育環境の整備、学校給食の充実を図ります。 地域が一体となった青少年の育成 <ul style="list-style-type: none"> 「地域の子どもは地域で育てる」という基本理念のもと、地域社会全体で子どもを守り育てる社会の実現を目指します。 社会教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会・場所において学ぶことができ、その成果を生かすことのできるよう、社会教育の充実・振興を図ります。 図書館サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> 読書活動を推進するとともに、市民との協働による図書館づくりを推進し、市民が利用しやすい図書館を目指します。 地域文化の保存・継承・活用 <ul style="list-style-type: none"> 各種芸術文化活動を支援し、市民が広く芸術や文化に親しめる環境の整備を図ります。 若山牧水や高森文夫など、地域の先人の顕彰と、文化財の保存・周知・活用に努めます。 スポーツ活動の推進と環境づくり <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の適正な整備・改修に努めるとともに、各種団体との連携を強化し、生涯スポーツ及び競技スポーツの振興に努めます。 人権・平和の尊重 <ul style="list-style-type: none"> 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」に基づき、人権教育・人権啓発の充実に努めるとともに、平和教育の充実に努めます。 				

【成果と課題】

1. 生きる力をはぐくむ教育の推進

きめ細かな指導のための非常勤講師「ひょうがっ子」を3校に配置し、少人数指導により分かる授業を推進しました。コミュニティ・スクール、キャリア教育、小中一貫教育を中心に学校がそれぞれ独自性を発揮しながら、地域と一体になった教育を推進しました。今後も、これら三位一体の教育について、互いに関わりをもたせながら進めていくことが求められています。

国が進める「GIGAスクール構想」の実現に向け、国の補助金等を活用し、児童生徒一人一台の端末と、校内における高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備を実施しました。また、市学校教育情報化推進計画に基づき、普通教室及び特別支援教室のすべてに大型テレビを設置しました。今後は、それらの環境の有効かつ効果的な活用が求められており、教職員の活用能力の向上を図る研修等の充実やAIDリル等の教材研究等を進めていく必要があります。

2. 魅力ある教育体制や環境の充実

コロナ禍においても、不登校及び不登校傾向の児童生徒に対し、適応指導教室の教育相談指導員等によるきめ細かな学習支援や教育相談を行うとともに、スクールソーシャルワーカーを活用し、学校や関係機関との連携強化に取り組みました。

細島小学校については、校舎の耐震性の向上を図るとともに、学校内に地域コミュニティの拠点施設を置く複合施設として、整備工事を進めることができました。その他の学校施設については、コロナ禍によるトイレの洋式化や設備の改修、施設の維持管理などを適切に行い、子供たちが安全で安心して学べる環境づくりに努めました。

より安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食における食物アレルギー対応の手引きを見直し、令和3年度2学期から運用することとしました。

学校給食費の公会計化に向けて、市長部局と教育委員会の連携体制の構築、移行準備体制の構築を進めていきます。

3. 地域が一体となった青少年の育成

子どもの夢を支援する取組については、中学生が日頃思い描いている夢に向かって取り組む活動の支援をしました。コロナ禍において、少しでも生徒の希望が叶えられるようあらゆる方策を探り、実施することができました。オンラインでの取組となった生徒もいましたが、画面を通じて指導者からしっかりとアドバイスをいただき、生徒自身にとって今後に生かすことのできる取組へとつなげることができました。

放課後子ども教室推進事業では、地域住民の協力を得て、学習や様々な体験活動を通して、子どもたちの育成を図っており、登録児童数も前年度に比べ増加しました。全7教室のうち、新たに4教室においてこれまで実施していなかった夏季休業期間のうち、一部期間において開設しました。また、コロナ禍により、年度当初に学校が臨時休業になった際にも、子どもたちの活動を見守るサポーターの協力を得て開設に結びつけることができました。課題としては、サポーターの数が少ない教室もあることから、地域と連携・協力しながらその確保に努める必要があります。あわせて、これまで以上に体験活動を積極的に取り入れ、子どもたちが楽しく過ごすことのできる場所とし、サポーターにおいても活動を通じて自己有用感の向上につなげられるよう取組を進めていく必要があります。

4. 社会教育の推進

家庭教育学級、高齢者学級、女性学級の学習活動を支援していますが、コロナ禍により活動回数が前年度と比べ減少しました。学習内容は趣味や教養に関するものが多いため、それぞれの年代が抱えている課題等に対する「学び」を充実させていく必要があります。

公立公民館では、コロナ禍により、主催講座の中止をはじめ自主学習グループ等の多くの学びの機会が制限されました。、今後は公民館における生涯学習の機会拡充に向け、オンライン学習などICTの活用についても模索していく必要があります。

5. 図書館サービスの充実

コロナ禍への対応として、臨時交付金を活用し、図書消毒機や空気清浄機を導入することにより安全で安心な図書館サービスを提供しました。また、図書の購入冊数を増やし、これまでの小・中学校等に加え、新たに放課後子ども教室や児童クラブにも団体貸出を行うなど、来館による感染リスクを避けた読書環境の整備や利便性の向上を図りました。

休館や利用制限等で来館者・貸出冊数ともに減少する中、感染症対策に努めながら、いかに読書活動を推進していくかが課題です。

6. 地域文化の保存・継承・活用

芸術文化活動においては、コロナ禍により第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会が延期されたことをはじめ、日向市美術展覧会の中止や日向市総合文化祭の規模縮小など、思うような事業が展開できませんでした。このように、市民の皆さんが芸術文化活動に親しむことが制限されていますが、新しい生活様式による事業の実施に取り組み、市民の皆さんの芸術文化への関心と意識の醸成に努めていく必要があります。また、本市の芸術文化の拠点施設である日向市文化交流センターについては、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からトイレの洋式化率を高める工事を実施しました。今後も施設の計画的な整備に努め、長寿命化を図っていく必要があります。

牧水顕彰事業については、「牧水・短歌甲子園」は、コロナ禍により現地対戦を行わず、審査員の皆さんによるリモート審査により、優勝校等を決定しました。また、「青の国若山牧水短歌大会」については、表彰式中止するなど、コロナ禍により規模縮小を余儀なくされました。そのほか、マスターズ甲子園は中止するなど、コロナ禍の影響は深刻なものでありますが、このような状況の中でも情報発信を積極的に行うなどして、市民の皆さんが牧水や短歌に親しんでもらえる機会を創出していくことが必要です。

伝統的建造物群保存地区保存整備事業では、国庫補助事業を含む10件の修理事業に取り組み、歴史的な町並みの保存と景観維持向上に努めました。埋蔵文化財では、令和元年度に調査した山下遺跡の整理作業を実施し、報告書の刊行や、県と連携して実施した「埋文セレクション」において出土品の展示を行いました。また、西南戦争関連遺跡の調査を県と合同で調査し、耳川流域において97基の塹壕を確認しました。文化財の性質は、有形、無形、民俗、史跡、名勝、天然記念物、景観、伝統的建造物群保存地区など多岐にわたることから、その特質に応じた対応が必要であり、文化財を継承していく担い手の育成などが求められています。

7. スポーツ活動の推進と環境づくり

スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等の各種団体と連携を図り、スポーツ活動に取り組んできましたが、コロナ禍により、スポーツ教室や「ひよっこマラソンin日向岬」、競技団体が主催する各種大会において中止や縮小されるものが多く、十分にスポーツの振興を図ることができませんでした。そのような状況の中、令和9年度に本県開催予定の国民スポーツ大会で、本県準備委員会より内定を受けている軟式野球とビーチバレーボールについて、中央競技団体の競技会場視察を受けました。また、デモンストレーションスポーツとしてサーフィン競技についてもお倉ヶ浜海水浴場で開催されることが内定しました。

老朽化が進むスポーツ施設については、視察等で指摘を受けた施設の改修を含め、緊急性や優先度を勘案しながら、安全・安心に利用できるよう計画的な改修等に努めます。今後も、新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら事業を展開していく必要があります。

8. 人権・平和の尊重

コロナ禍により、「日向市人権・同和教育研究大会」を開催することができませんでした。また、市学校人権・同和教育推進協議会や教育集会所での解放子ども会活動も制約を受け、これまでのような取組を行うことができませんでした。一方、ICT機器を活用したオンラインでの研究大会等に参加するなどして、部落問題をはじめとする人権問題の解決に向けての取組を進めました。

コロナ禍により、沖縄県へ中学生を派遣する中学生平和交流事業は中止しました。戦争体験者の高齢化により直に体験談を聞くことが難しくなっているため、今後、事業の内容を検討する必要があります。

総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

(教育委員会)

重点戦略								
重点プロジェクト								
基本目標	施策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数

【重点戦略1】 未来へつなげる人づくり戦略						郷土愛を持ち、社会に貢献する元気な若者を育てます。			
1-1 未来を支える“ひょうがっ子”プロジェクト						令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	②小学校・中学校教育の充実	ひょうがっ子学力向上推進事業	学校教育課	<p>[取組内容] 少数教育非常勤講師を3名配置します。諸学力調査を活用し、授業改善につなげる取組の充実を図ります。</p> <p>[上半期] 各学校で進める授業改善の取組等について聞き取り等を行うなど、状況把握に努めます。</p> <p>[下半期] 学力向上の取組や進捗状況に関するヒアリングを行います。講師対象の授業力向上についての研修会等を行います。学校のニーズを踏まえた学校訪問の在り方について検討します。</p>	計画どおり	<p>全国学力・学習状況調査がコロナ禍により中止となりました。しかし、国から配付された問題冊子を活用し、各学校での実施及び採点・分析を行い、さらに12月に実施された県独自の学力調査結果をもとに、授業改善・充実に向けた取組ができました。</p> <p>また、きめ細かな指導のための非常勤講師「ひょうがっ子」を3校に配置し、指導の充実が図られました。各学校を対象に、学力向上ヒアリングを実施し、取組状況について把握・助言を行いました。</p> <p>令和2年度については、コロナ禍により、授業改善を目指した学校訪問が実施できませんでした。</p>	251	
			学校ICT環境整備事業(小・中学校)	学校教育課	<p>[取組内容] 学校の校内ネットワークに接続された、教師用PCを段階的に更新し、校務支援システムが効果的に活用できる環境を整えます。また、昨年度に引き続きプログラミング教育推進のためのモデルカリキュラムの作成に取り組むとともに、教材や大型テレビを整備します。</p> <p>[上半期] プログラミング教育教材や大型テレビを整備します。プログラミング教育の在り方について研究を継続します。</p> <p>[下半期] 教師用PCの段階的な更新を行います。プログラミング教育の在り方について研究を継続し、モデルカリキュラムの作成を行います。</p>	計画どおり	<p>教師用PCを段階的に更新するとともに、校務支援システムを活用し、業務の負担軽減を図ることができました。</p> <p>また、市教育研究所において、プログラミング教育について研究し、その内容を実践事例集として、全小中学校に配付しました。</p> <p>デジタル教材を活用することで、授業内容の理解促進が図られるよう、大型テレビの整備を進め、既存分と合わせ全普通教室及び特別支援教室に配備することができました。</p>	247・248・469・470	

1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	②小学校・中学校教育の充実	就学支援委員会・通学区域審議会	学校教育課	<p>[取組内容] 児童生徒数や地区人口の推移、各学校の課題等を整理し、学校の適正配置について、調査研究を行います。</p> <p>[上半期] 今年度の児童生徒数等の状況把握に努めます。</p> <p>[下半期] 適正な学校配置のあり方等について検討を進めます。</p>	計画どおり	児童生徒数の将来推計や校舎の個別改修計画について、調査研究を行いました。	243
			外国語教育推進事業	学校教育課	<p>[取組内容] 小学校の外国語活動のさらなる充実に取り組みます。</p> <p>[上半期] 7名のALTの適切な配置を行い、研修等をとおして、効果的な活用を図ります。</p> <p>[下半期] 中学校1年生全員を対象として英検5級以上の資格取得を目指します。 (目標値:5級合格率80%以上)</p>	計画どおり	7名のALTを適切に配置し、外国語活動及び外国語科の充実を図ることができました。 また、中学1年生が英語検定を受験し、5級の合格率が82.2%となりました。	253
			キャリア教育推進事業	学校教育課	<p>[取組内容] 「よのなか先生」の効果的活用を図り、「よのなか教室」の充実を図ります。また、キャリア教育に係わる研修会等を開催・支援します。</p> <p>[上半期] 月2回のキャリア教育センター会議に出席します。 キャリア教育推進懇話会(前期)の開催・運営を行います。 「よのなか花まる先生」による学習支援を行います。</p> <p>[下半期] 月2回のキャリア教育センター会議に出席します。 キャリア教育推進懇話会(後期)の開催・運営を行います。 企業等による出前授業を実施し、地域・PTA、企業等との連携を推進します。 「よのなか花まる先生」による学習支援を行います。</p>	計画どおり	月2回、キャリア教育支援センター会議に継続的に出席し、日向市におけるキャリア教育の推進に向けて、協議を進めることができました。 各学校における外部人材を招いての「よのなか教室」は、コロナ禍により制限される状況となりましたが、オンデマンドでの学習ができるようデジタル教材の整備を進めました。 また、小学校では、「よのなか花まる先生」を配置し、学習進度を高めるなど、児童に対する学習支援を行いました。	252

1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	②小学校・中学校教育の充実	読書活動充実事業	学校教育課	<p>[取組内容] 学校図書館司書を配置することにより、図書室の環境を整備し、活動を充実させ、図書室の利用者増と読書冊数増をめざします。</p> <p>[上半期] 学校図書館司書を対象とした研修を行い、学校図書室の環境整備や児童生徒の読書意欲を高める活動等の充実を図ります。</p> <p>[下半期] 読書意欲や読書冊数を調査し、充実した学校図書館の在り方について研究を進めます。 図書館司書配置の成果について、検証を行い、効果的な配置の在り方について、検討します。</p>	計画どおり	全中学校区に、7名の学校図書館司書を配置し、図書主任等と学校図書館司書が連携を図りながら、児童生徒が通いたくなる学校図書館の空間をつくるなど、各学校の学校図書館の環境整備を一層充実させるとともに、児童生徒の読書意欲の向上につなげました。	245・261・263
			[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業	学校教育課	<p>[取組内容] 市内小中学校において、校内の高速大容量通信ネットワークの整備や児童生徒1人1台のタブレット端末の整備を一体的に行います。</p> <p>[上半期] 機器の選定や契約事務を行います。</p> <p>[下半期] 年度内完了を目指し、施工管理を行います。 機器の活用方法について、調査研究を行うとともに、学校との情報共有を図ります。</p>	計画どおり	契約事務を着実に進め、高速大容量の通信ネットワークの整備や1人1台のタブレット端末の配備を年度内に完了することができました。	469・470
	1-2 魅力ある教育体制や環境の充実	④安全で安心な教育環境の充実	細島小学校改築事業	教育総務課	<p>[取組内容] 細島小学校の校舎は、耐震性が低く安全性が確保できません。また、周辺の公共建物も老朽化が激しいことから細島小学校については公民館等を含めた複合施設として平成30年度より地元協議を重ね令和元年度には実施設計を完了しました。本年度より2ヶ年継続で校舎整備に係る各種工事を進めます。</p> <p>[上半期] 本工事着手前に、仮設に係る施設の整備を実施します。 校舎整備に係る工事契約を行います。</p> <p>[下半期] 校舎整備に着手します。(完成予定:令和3年8月)</p>	計画どおり	<p>コロナ禍の中での事業着手となりましたが、本工事前に着手すべき仮設工事等については、順調に進めることができました。</p> <p>本体である校舎整備についても、工事契約から令和2年度の出来高到達率まで進めることができました。</p>	242

1 教育文化	1-3 地域が一体となった青少年の育成	①青少年教育の充実	子ども土曜教室事業	文化生涯学習課 (中央公民館)	<p>[取組内容] 7地区公民館主催で10月から1月までの4ヶ月間で、8教室の講座を計画します。少子化、社会情勢の多様化に伴い受講者が減少していることから、児童が学校で体験できない特色ある内容の講座を検討します。 公立7公民館で小学校区毎に開設時期、地域性を考え、世代間交流等も取り入れながら、各教室ごとに特徴のあるプログラムを実施します。</p>	計画どおり	<p>今年度は公立6公民館7講座での実施となりました。南日向公民館については、参加者が実施予定人数に達しなかったことから、中止となりました。 【参加者:69名、延べ受講者数:189人】</p>	285	
			ふるさと再発見!子どもの夢実現サポート事業	文化生涯学習課	<p>[取組内容] 夢サポート事業では、昨年度申し込みがしやすいよう改善を図ったところ応募者は増加しましたが、さらなる増加につながるよう広報活動に努め、夢に向かってチャレンジする取組を支援します。</p>	その他	<p>【ふるさと再発見事業】 コロナ禍により、取組を中止しました。 【夢サポート事業】 市内の中学生6名より応募があり、うち3名が選考され、それぞれの夢に向かってチャレンジする取組を支援しました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、あらゆる方策を探り、実施に結び付けることができました。</p>	273	
	1-7 スポーツ活動の推進と環境づくり	③競技スポーツの推進	「日向市スポーツ推進」小・中・高連携事業	スポーツ振興課	<p>[取組内容] スポーツ協会加盟団体のうち3競技団体を選定し、委託を行い競技別に小学生、中学生、高校生及び指導者を対象に強化練習等を実施し、競技力の向上を図ります。</p> <p>[下半期] 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、スポーツ協会加盟団体のうち3競技を選定する予定</p>	未着手	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から事業を行えませんでした。</p>	-	
1-2 元気な若者(ワケモン)“未来”づくりプロジェクト					令和2年度の主な取組内容		進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	④高校や大学等との連携強化	放送大学支援事業	文化生涯学習課	<p>[取組内容] 放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う宮崎学習センターの支援事業に対して助成します。公開講座を開催することにより、宮崎学習センターの取組に関心を持ってもらうことにつながるため、振興協議会と連携を図り、入学者の増加に努めていきます。 宮崎学習センターに入学した市民に対し、入学金の2分の1を補助します。</p> <p>[上半期] 宮崎学習センター振興協議会支援、入学金の助成 [下半期] 入学金の助成</p>	計画どおり	<p>放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う宮崎学習センターの支援事業に対して助成を行い、協議会の活動を活性化させることにつながることができました。また、協議会活動において、入学者の増加につながるための新たな取組として、体験入学者への助成を行いました。 宮崎学習センターに入学した市民に対し、入学金の2分の1を補助する制度を活用し、入学者の増加に努めました。</p>	269	

1-3 ふるさと“発見”プロジェクト					令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	②小学校・中学校教育の充実	牧水教育事業	学校教育課	[取組内容] 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の牧水かるた大会の開催を中止します。	計画どおり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、牧水かるた大会の開催を中止しました。	-
			教育振興に要する経費(小・中学校)	学校教育課	[取組内容] 全小中学校(特別な事情のある学校を除く)において、「弁当の日」を実施します。 栄養教諭の派遣による食育授業の充実を図ります。 [上半期] 食育授業の希望調査を行い、栄養教諭による食育授業を全小中学校で実施します。 [下半期] 「弁当の日」(特別な事情のある学校を除く)の調査を実施します。	その他	栄養教諭による食育授業を計画的に行い、食育の推進を図ることができました。 「弁当の日」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった学校もありますが、ほとんどの学校が、学校行事等と関連させながら、工夫して実践することができました。	261・263
	1-2 魅力ある教育体制や環境の充実	③学校給食の充実	給食調理に要する経費(学校給食センター)	学校給食センター	[取組内容] 調理・搬送委託事業者、学校給食会と連携し、市立幼稚園・小中学校へ安全で安心な学校給食を安定して提供するとともに、地元で採れる食材を使った地産地消の推進に努めます。 [上半期・下半期] 調理に使用する包丁など消耗品を計画的に購入し、安全・安心な給食の円滑な提供を進めます。	計画どおり	1学期は、コロナ禍による臨時休業、分散登校、夏季休業の短縮等により、給食の提供に影響が生じましたが、2学期以降は、予定どおり実施することができました。 学校給食で提供する主食に対する地産地消率は、令和2年度2学期から米飯の週3回提供を実施したことにより、64%の割合となりました。 令和2年度は、コロナ禍により、生産者及び学校と連携して行う地元食材を使用した交流給食会は実施することができませんでした。地元食材を使用した給食の献立を市のホームページに掲載し、学校給食における地産地消の取組について市民に広く周知することができました。 調理に使用する消耗品の購入は予定どおり行いました。	264
1-6 地域文化の保存・継承・活用	②文化財等の保存・継承・活用	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助・単独)	文化生涯学習課	[取組内容] 美々津重要伝統的建造物群保存地区における建造物等の修理・修景を行うことで、伝統的建造物の保存と景観の維持を図り、美々津の素晴らしい町並みを市内外にPRします。 国庫補助事業 立磐神社 市単独補助事業 米原家ほか7件	遅れ	建造物の修理を行い、伝統的建造物の保存と景観の維持を図りました。 立磐神社修理の補助事業においては、コロナ禍により着手が遅れたため工期内の完了が困難となり、繰越することとなりました。 国庫補助事業 立磐神社1件 市単独補助事業 米原家ほか8件	282・283	

1 教育文化	1-6 地域文化の 保存・継承・ 活用	②文化財等 の保存・承 継・活用	文化財の 保存と活 用に要す る経費	文化生 涯学習 課	<p>[取組内容] 日向市に存在する指定文化財等の保存と活用を図るとともに、新たな文化財や史跡の調査を行い、本市の歴史の解明に寄与します。</p> <p>[上半期] 山下遺跡整理作業</p> <p>[下半期] 山下遺跡記録作成</p>	完了	<p>山下遺跡の整理作業を行い報告書を刊行しました。また、出土遺物等を市役所1階ロビーで展示し、その成果を市民に広く公開しました。</p> <p>宮崎県埋蔵文化財センターと協力して西南戦争関連遺跡の調査を行い、歴史研究の貴重な資料となりました。</p>	281
		③地域の先 人の顕彰と 活用	牧水顕彰 事業	文化生 涯学習 課	<p>[取組内容] 若山牧水の顕彰と文化の振興に寄与するため、「牧水・短歌甲子園」・「青の国若山牧水短歌大会」を継続実施するほか、高森文夫顕彰事業の支援を行います。各牧水顕彰事業の実施にあたっては、多くの市民に参加していただけるよう情報発信を強化するとともに、短歌の魅力にふれていただけるような取組を盛り込みます。</p> <p>[上半期] 「牧水・短歌甲子園」の開催(紙上対戦)</p> <p>[下半期] 若山牧水賞事業等他団体実施事業への協力・参加</p>	計画どおり	<p>「牧水・短歌甲子園」は、コロナ禍により紙上(リモート)での審査となりましたが、より多くの方々にご覧いただくため、審査結果・講評をYouTubeで発信しました。</p> <p>青の国若山牧水短歌大会は、全国から合計4,050首の応募がありました。</p> <p>若山牧水賞の協力や高森文夫詩碑祭の支援等を行いました。</p>	284

【重点戦略3】 笑顔で暮らせるまちづくり戦略 若者も安心して住み続けられるまちをつくります。

3-2 笑顔で暮らせる“健康長寿・スポーツ推進”プロジェクト					令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	①スポーツ 指導者・団 体等の支援	①スポーツ 指導者・団 体等の支援	スポーツ 指導者・ 団体等支 援事業	スポー ツ振興 課	<p>[取組内容] スポーツ推進委員が開催しているスポーツ教室の内容を充実させ、参加者数の確保に努めます。また、体育協会をはじめ、関係機関の活動を支援します。</p> <p>[下半期] 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、各種スポーツ教室を計4回開催する予定です。</p>	未着手	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から事業を行いませんでした。</p>	288
3-3 安心して産み育てる“みんなで子育て”プロジェクト					令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-3 地域が一体 となった青 少年の育成	①青少年教 育の充実	放課後子 ども教室 推進事業	文化生 涯学習 課	<p>[取組内容] 学校の放課後に小学校等を利用し、地域住民の参画を得て子どもたちと行う勉強、屋外活動、文化活動などの取組を支援します。また、サポーターの協力を得て、七夕やクリスマスなど季節にあった行事を積極的に取り入れていきます。</p> <p>受入団体等との協議を進め、長期休業期間中の開設に向けて取り組んでいきます。</p> <p>平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園(2教室)にて開設</p>	計画どおり	<p>平岩小、細島小、塩見小、美々津小、寺迫小、東郷学園(2教室)にて開設をし、サポーターの協力を得て、放課後における児童の安全で安心して過ごすことのできる居場所をつくることができました。</p> <p>夏季休業期間において、新たに4教室で開設しました。</p>	272

その他に取組む重点事業

(教育委員会)

基本目標	施策	具体的な施策	予算事業名	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
1 教育文化	1-1 生きる力を 育む教育の 推進	①幼児教育 の充実	—	・学校 教育課 ・こども 課	<p>[取組内容] 日向市スタートカリキュラムを活用して、幼保小の円滑な接続を図ります。</p> <p>[上半期] 幼保小の接続期の充実を図るため、日向市スタートカリキュラムの活用について、市内小学校の実態把握に努めます。</p> <p>[下半期] 各小学校区で、幼保小連携に関わる研修会を実施し、参観授業や協議を通して、スタートカリキュラムを活用した取組を振り返り、成果や課題を把握し、次年度の取組の改善に向けた検討を進めます。</p>	計画どおり	<p>コロナ禍による新年度のスタートでしたが、日向市スタートカリキュラムを活用した取組を行うことができました。</p> <p>幼保小連携に係る研修については、コロナ禍のため、集合型の研修を行うことができませんでしたが、オンラインによる研修を実施し、アブローチカリキュラムとスタートカリキュラムの接続等についての具体的な実践事例等を共有することができました。</p>	249
		②小学校・ 中学校教育 の充実	小中連 携・一貫 推進事業 (ソフト)	学校教 育課	<p>[取組内容] 日向ならではの小中一貫教育をさらに推進します。</p> <p>[上半期] 学校運営協議会において、各中学校区の小中一貫教育グランドデザインを周知します。 小中一貫教育連絡協議会の取組等を通じて情報交換を行い、成果と課題を整理します。</p> <p>[下半期] 小中一貫教育連絡協議会を実施し、成果と課題を整理します。 これまでの成果と課題をもとにした今後の各学校の小中一貫教育の在り方について、地域の方々と情報共有を図ります。</p>	計画どおり	<p>コロナ禍により小中一貫連絡協議会を開催できませんでしたが、各中学校区においてグランドデザインの見直しを行い、目指す学校像や子どもの姿を共通理解し、中学校区が一体となった取組を進めることができました。</p>	—
			コミュニ ティ・ス クールに 要する経 費	学校教 育課	<p>[取組内容] 地域と一体となったよりよい学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの充実を図るとともに、「ひゅうが学びの学校」の実現に向けて取り組みます。</p> <p>[上半期] 小中一貫教育連絡協議会等において、コミュニティ・スクールについての情報交換や進捗状況について確認します。</p> <p>[下半期] コミュニティ・スクールの成果と課題を整理します。</p>	計画どおり	<p>コロナ禍により、学校運営協議会の回数は削減されましたが、地域の方の意見や承認をいただきながら、地域とともに学校づくりを進めることができました。</p>	260・262

1 教育文化	1-1 生きる力を育む教育の推進	③特別支援教育の充実	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	学校教育課	<p>[取組内容] 小中学校への特別支援教育支援員の適正な配置を行うとともに、就学前の幼児も通うことができる通級指導教室「ひなた」の適切な運営と支援の充実を図ります。</p> <p>[上半期] 就学相談を行い、支援の必要な児童の状況を把握します。</p> <p>[下半期] 就学支援委員会を実施し、一人ひとりのニーズに応じた教育支援へとつなげていきます。</p>	計画どおり	<p>小中学校への特別支援教育支援員の適正な配置を行うとともに、通級指導教室「チャレンジ教室『ひなた』」の適切な運営と支援の充実を図りました。</p> <p>就学相談を行い、支援の必要な児童の状況を把握し、就学に向けて適切な支援を行いました。</p> <p>また、就学支援委員会を開催し、一人一人に対して適切な就学支援および教育支援を行いました。</p>	256
	1-1 生きる力を育む教育の推進	②小学校・中学校教育の充実	・教育振興に要する経費 (小・中学校)	学校教育課	<p>[取組内容] 各学校が策定しているいじめ防止のための「きずなプラン」を基にした取組の充実を図るとともに、より実効性のある組織の構築に向けて、学校との連携を強化します。また、関係機関との連携により、児童生徒の相談支援の充実を図ります。</p> <p>[上半期] 毎月のアンケートと教育相談を実施し、いじめや虐待の把握に努めます。 適応指導教室の指導員が学校訪問を行い、不登校等の未然防止や情報共有を図ります。 市で配置しているスクールソーシャルワーカーを活用し、学校の要請に応じて、積極的に事案の対応に努めます。</p> <p>[下半期] 毎月のアンケートと教育相談を実施し、いじめや虐待の把握に努めます。 適応指導教室指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して、不登校及び不登校傾向の児童生徒の学校復帰を目指します。 関係機関との情報交換等の充実を図ります。</p>	計画どおり	<p>各学校は、いじめや学校生活に係るアンケートを毎月実施し、いじめや虐待等の未然防止に努めました。</p> <p>コロナ禍により適応指導教室に通級する生徒の学校への訪問はできませんでしたが、毎月電話で情報交換を行いました。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、保護者や関係者との連絡調整を行うとともに積極的に児童生徒の支援に努めました。</p> <p>年2回の日向東臼杵いじめ問題対策専門家委員会において、専門的な知見からの指導・助言をいただき、それを各学校での対応に活用しました。</p>	246・261・263
	1-2 魅力ある教育体制や環境の充実	②児童生徒の健康づくりの推進	・就学時健康診断に要する経費 ・保健体育の充実に要する経費 ・安全教育の推進に要する経費 ・学校教育保健一般事務費	学校教育課	<p>[取組内容] 各種学校健診、就学時健診を実施し、結果に基づき健康管理、保健指導の充実を図ります。</p> <p>[上半期] 各種学校健診については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施日等の調整が必要となった学校もあるため、関係機関と連携し、スムーズな健診実施に努めます。 健診を通して、児童生徒の健康状態や学校における健康課題を把握します。</p> <p>[下半期] 健診結果を活用し、児童生徒の健康課題解決に向け、個別の健康管理(保健指導、治療勧奨)や児童生徒、保護者を含めた予防啓発を行います。</p>	計画どおり	<p>コロナ禍により学校休業となったため、各種学校健診等の時期は遅くなりましたが、関係機関と学校の協力もあり、実施することができました。今後も感染症予防対策に取り組んでいく必要があります。</p> <p>小児生活習慣病予防健診については、1次健診の結果により、2次健診(精密検査)の実施や個別栄養相談を行うことができました。</p>	257・258・259・404

1 教育文化	1-2 魅力ある教育体制や環境の充実	③学校給食の充実	安全衛生対策に要する経費(学校給食センター)	学校給食センター	<p>[取組内容] 異物混入の原因となる害虫駆除を専門業者に委託し、点検、対策、改善方法の提案を受けるなど施設内外の総合的な衛生管理を実施し、衛生的な施設・作業環境を整備します。 アレルギー対応作業部会で検討した対応方法の変更等を検討委員会に報告、承認を得た後、学校、保護者に対し新しい対応方針の説明を行い、令和3年度2学期からの適用を目指します。</p> <p>[上半期・下半期] 衛生管理・保持に関する消耗品等の計画的購入、法定検査等を実施します。 アレルギー対応の変更等を学校、保護者に対し説明します。 アレルギー対応給食提供に係る学校関係者と保護者との面談に同席し情報共有を図ります。 「大量調理施設管理マニュアル」に規定された調理従事者等のノロウイルス検査(PCR法)を実施します。</p>	計画どおり	<p>害虫駆除については、専門業者に委託することにより、施設内外の衛生管理が徹底されました。また、委託業者から提案を受けた改善方法を職員が実践することで、衛生管理の意識の向上につながりました。 アレルギー対応検討委員会において、学校給食で対応する対象品目及び対応内容の変更について協議検討し、手引及び調査様式等の見直しを行いました。見直し後の対応については、令和3年度2学期から実施します。また、対応が変更となる対象者の保護者や学校に対して説明会を実施しました。 食品検査、検便検査、ノロウィルス検査、水質検査等は、計画どおり行いました。</p>	265
			給食調理に要する経費(学校給食センター)	学校給食センター	<p>[取組内容] 厳しい衛生管理や地産地消を含めた食材の創意工夫など、学校給食に関する広報に努め、食育の推進を図ります。</p> <p>[上半期] コロナ禍により、施設の見学試食の受入については、中断します。市ホームページに給食だより、献立表、一ロメモを掲載することで、子ども達の食べている学校給食を紹介します。</p> <p>[下半期] 2学期・3学期に、給食に関わる生産者・調理員・栄養士等で学校を訪問し、「地産地消交流学校給食会」を実施します。 1月の全国学校給食週間に合わせて、学校給食作品展を実施します。</p>	その他	<p>施設の見学及び試食は、コロナ禍の影響を考慮し、年間を通して受入れを中止しました。市のホームページに、給食だより、献立表、一ロメモを掲載して子どもたちの食べている学校給食を紹介しました。 栄養教諭の食育授業は計画どおり実施できました。特に3学期には、富島高校生活文化科の生徒が考案したレシピを学校給食の献立に採用し、小学校で給食をともにしながら交流することで、授業の成果を実感してもらいました。 学校給食作品展は、当初の予定を変更しましたが、実施することができました。</p>	264
	1-3 地域が一体となった青少年の育成	①青少年教育の充実	地域教育力活性化推進事業	文化生涯学習課	<p>[取組内容] 地域教育力活性化推進事業については、申請団体の増加につなげるため区長会等に出席し、事業のPRに努めます。そうして本事業の目的である世代間交流活動などをとおして、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力の育成を図ります。</p> <p>[上半期] 地域教育力活性化推進事業受託団体募集、委託契約、児童生徒健全育成事業補助金交付決定、活動への助言、実施状況確認</p> <p>[下半期] 地域教育力活性化推進事業活動への助言、実施状況確認</p>	その他	<p>コロナ禍により、地域教育力活性化事業については、計画どおりの活動ができない団体が多くありました。 また、児童生徒健全育成事業についても、予定していた活動ができない中学校区もありました。</p>	271

1 教育文化	1-4 社会教育の 推進	③自主学級 活動の充実	自主学級 事業	文化生 涯学習 課	<p>[取組内容] 家庭教育学級、高齢者学級、女性学級の活動を通して、地域社会の課題を見つけ、解決するために継続的・計画的に自主的に学ぶ場を支援し、地域における人材育成及びリーダーを養成します。学級長を集めての学級長会を開催し、他学級の取り組みを参考にしたり、課題の共有を行うことで効果的な学級運営につなげていく。</p> <p>[上半期] 説明会の開催、事業委託契約、活動への助言、実施状況確認</p> <p>[下半期] 活動への助言、実施状況確認</p>	その他	<p>コロナ禍により、開催時期を年度当初から、後半に変更するよう依頼したこともあり、年間を通しての活動ができませんでした。</p> <p>さらには、全く活動ができない学級もありました。</p>	278
	1-5 図書館サー ビスの充実	①図書館機 能の充実	図書館 サービス・ 資料の充 実に要す る経費	図書館	<p>[取組内容] 「市民が利用しやすい図書館づくり」に取り組み、利用者や貸出冊数増等を図ります。 調べ学習支援(レファレンスなど)の充実により、市民の学習活動を支援します。 インターネットによる図書予約などを通じて、利便性の向上を図ります。 郷土史、若山牧水に関する蔵書充実や、企画展示を行います。</p> <p>[通年] 図書館協議会を開催し、図書館サービス向上を図ります。 利用者登録有効期限を設け利用者情報の適正化を図ります。 館内飲食スペース開放や、フリーWi-Fi環境を提供します。 雑誌スポンサー制度を導入し、広告主事業者に情報発信の場を提供し図書館経費の効率的な運用と図書館サービスの向上を図ります。</p>	その他	<p>コロナ禍により、52日間の臨時休館期間があり、開館日数が240日となったことから、利用者や貸出冊数も減少しました。</p> <p>図書館に来館しなくても読書ができるよう放課後子ども教室等への図書の貸出を実施して利便性を図りました。</p> <p>図書館協議会を书面審議で開催したり、図書消毒機や空気清浄機を購入するなど、感染拡大防止に力を入れ、安全安心な図書館サービスに努めました。</p>	266
		②読書活動 の推進	・児童 サービス に要する 経費 ・生涯学 習ボラン ティア(図 書館)の 育成事業	図書館	<p>[取組内容] 「第2次日向市子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート、おはなし会など子どもの読書活動を推進します。 貸出文庫等を通じ、小中学校との連携を図ります。 図書館友の会、高校生などのボランティアの育成を通して「市民との協働による図書館づくり」を行います。</p> <p>[通年] ブックスタート事業、おはなし会を行います。 図書館友の会、高校生ボランティア等を育成支援します。</p>	その他	<p>○ブックスタート 476人 ○ブックスタートプラス 409人 ○ブックスタートツープラス 508人</p> <p>コロナ禍により、おはなし会やとしょかんまつりなど、密集するイベントを避け、ブックリサイクル等の代替行事を行いました。</p> <p>こども課と連携して、発達の気になる子どもに対する読み聞かせを行いました。</p>	267・268

1 教育文化	1-8 人権・平和 の尊重	①人権・同 和教育の推 進	・同和教 育の充実 に要する 経費 ・社会同 和教育集 会所新財 市会館管 理運営費	・学校 教育課 ・地域 コミュ ニ ティ課	<p>[取組内容] 「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」にしたがい、文化生涯学習課、地域コミュニティ課同和行政推進室と連携し、同和教育をはじめとする人権教育の充実に取り組みます。 今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「日向市人権・同和教育研究大会」の開催を中止します。</p> <p>[上半期] 教育集会所での学習支援等の活動について、継続して取り組みます。</p> <p>[下半期] 教育集会所での活動を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、人権に関する研修会を関係機関と連携し開催します。</p>	計画どおり	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市人権・同和教育研究大会の開催の中止や日向市学校人権・同和教育推進協議会の活動も一部にとどまるなど、教職員等の人権・同和問題に対する学びの機会が失われました。 教育集会所での解放子ども会活動については、一時活動を中止した時期もありましたが、学習指導等支援教員等による学習を継続して行うことができました。</p>	402・404
—	市施設管理 運営費	教育施設管 理運営費	日向市学 校給食セ ンター管 理運営費	学校給 食セン ター	<p>[取組内容] 学校給食費等の公会計化について、先進地への視察を実施。市長部局等との協議を実施、移行体制の構築に向けて準備を進めます。</p> <p>[上半期・下半期] 視察研修を実施し、市長部局、教育委員会と連携体制の構築、移行準備体制の構築に向けた検討を進めます。</p>	遅れ	<p>先進地視察はコロナ禍の影響があり実施できませんでした。</p>	410

[様式1-4]

行財政改革大綱に基づく行動計画

(教育委員会)

大区分	中区分	小区分 (実施項目)	所管課	令和2年度の主な取組内容	進捗状況	取組結果
2. 効率的な行政経営の確立	2. 簡素で効率的な組織の運営	12. 公立幼稚園の運営形態の見直し	学校教育課	<p>[取組内容] 閉園した園舎について、関係部署とともに、今後の活用の協議を行います。</p> <p>[上半期] 関係部署との協議</p> <p>[下半期] 関係部署との協議</p>	計画どおり	地域人口や就学前児童数に基づく将来推計を作成するなど、調査研究を行いました。
3. 持続可能な財政基盤の強化	1. 経営視点に立った財政運営	28④. (公財)日向文化振興事業団の経営健全化	文化生涯学習課	<p>[取組内容] 【(公財)日向文化振興事業団】第三セクター改革プラン(経営健全化方針)に則り、文化振興事業の強化や貸館事業の促進を推進し、運営委員会において事業内容の確認や検討を行います。</p> <p>[上半期] 月1回運営委員会を実施</p> <p>[下半期] 月1回運営委員会を実施 年1回企画評価委員会を実施</p>	その他	コロナ禍の影響により、興行事業のほとんどが中止となり、市文化交流センターの利用が大幅に減少し、指定管理者である日向文化振興事業団の経営支援(損失助成)を行いました。

部局経営方針に掲載されていなかった新型コロナ対策事業等の取組

予算事業名	事業内容	進捗状況	取組結果	成果説明書頁数
[新型コロナ対策]教育施設環境整備事業	学校施設の感染症対策として、和式トイレの洋式化に取り組みます。	完了	トイレの洋式化を行いました。	468
[新型コロナ対策]保健体育の充実に要する経費	学校健診における感染予防対策に必要な消耗品や備品の購入	完了	国の補助等を活用し、感染症対策及び学習保障等に必要な消耗品や備品を購入しました。	471
[新型コロナ対策]小学校施設 管理運営費[学事係] [新型コロナ対策]中学校施設 管理運営費[学事係]	学校における感染症対策及び学習保障等に必要な消耗品や備品の購入	完了	国の補助等を活用し、感染症対策及び学習保障等に必要な消耗品や備品を購入しました。	471・472
[新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設環境整備事業	日向市文化交流センタートイレについて、新型コロナ対策として和式トイレの洋式化に取り組みます。(当初、令和2～3年度の2か年の工事を予定していましたが、令和3年度工事分を新型コロナ対策事業として前倒して実施します。)	完了	計画どおり、工事を完了することができました。	473